化学療法スケジュール表

□ 一般治療
□ 臨床試験
□ 治験

患者氏名
患者ＩＤ
生年月日

身　長	cm	診療科	
体　重	kg		
体表面積	m²	医　師	印
Ｓｃｒ	mg/dL		
Ｃｃｒ	ml/min		

ｱﾐﾊﾞﾝﾀﾏﾌﾞ+CBDCA/Pem(C1 BW＜80kg)
(登録No.25LU02)

病　名	推奨度
非小細胞肺癌	B

施用開始日　　年　　月　　日

(初回・継続＿＿＿＿＿コース目・変更)

		予定日付	／	／	／	／
Ｐｅｍ	(500ｍｇ/m²)		↓			
ＣＢＤＣＡ	(5×(G+25))		↓			
Amivantamab	(350ｍｇ)		↓			
Amivantamab	(1050ｍｇ)			↓		
Amivantamab	(1400ｍｇ)				↓	↓
		Day	1	2	8	15

(1ｻｲｸﾙ 21 日)　(休薬 6 日以上)

Exson20挿入変異陽性　総コース数：最大４コース

1	ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝ点滴静注ﾊﾞｯｸﾞ0.75mg/50 デキサート注射液１．６５ｍｇ	50 ｍＬ 2 Ａ	点滴注射 15分
			(1)
2	生理食塩液　１００ｍＬ ﾍﾟﾒﾄﾚｷｾﾄﾞ点滴静注液「NK」	100 ｍＬ (　　) ｍｇ (500ｍｇ/m²)	点滴注射 10分
			(1)
3	ブドウ糖液５％（２５０mL） カルボプラチン点滴静注液	250 ｍＬ (　　) ｍｇ (5×(G+25))	点滴注射 60分
			(1)
4	生理食塩液　５０ｍＬ	50 ｍＬ	点滴注射 フラッシュ用
			(1)
5	アセリオ静注液1000mgバッグ ポララミン注５ｍｇ ﾌｧﾓﾁｼﾞﾝ注射液20mg「ﾄｰﾜ」	1 袋 1 Ａ 1 Ａ	点滴注射 15分
			(1)
6	生理食塩液　５０ｍＬ	50 ｍＬ	点滴注射 フラッシュ用
			(1)
7	大塚生食注（250mL袋） ﾗｲﾌﾞﾘﾊﾞﾝﾄ点滴静注350mg	250 ｍＬ (　350) ｍｇ	点滴注射 240分 輸液ポンプを用いて投与 投与速度は下記参照 ①投与開始時は50mL/hで開始 ②投与開始2時間後に75mL/hに上げる

　〈次ページ有〉　受付日　　年　　月　　日

		infusion reactionが認められない場合は 投与開始2時間後に投与速度を上げられる 0.2または0.22μmのｲﾝﾗｲﾝﾌｨﾙﾀｰを使用 Total 250mLとなるように調製 調製後、10時間以内に投与完了 (1)
8 生理食塩液　５０ｍＬ	50 ｍＬ	点滴注射 フラッシュ用 ﾗｲﾌﾞﾘﾊﾞﾝﾄ投与時と同じ速度でﾌﾗｯｼｭ (1)
9 アセリオ静注液1000mgバッグ ポララミン注５ｍｇ ﾌｧﾓﾁｼﾞﾝ注射液20mg「ﾄｰﾜ」 デキサート注射液１．６５ｍｇ	1 袋 1 Ａ 1 Ａ 2 Ａ	点滴注射 15分 (2)
10 生理食塩液　５０ｍＬ	50 ｍＬ	点滴注射 フラッシュ用 (2)
11 大塚生食注（250mL袋） ﾗｲﾌﾞﾘﾊﾞﾝﾄ点滴静注350mg	250 ｍＬ （　1050）ｍｇ	点滴注射 360分 輸液ポンプを用いて投与 投与速度は下記参照 ①投与開始時は33mL/hで開始 ②投与開始2時間後50mL/hに上げる infusion reactionが認められない場合は 投与開始2時間後に投与速度を上げられる 0.2または0.22μmのｲﾝﾗｲﾝﾌｨﾙﾀｰを使用 Total 250mLとなるように調製 調製後、10時間以内に投与完了 (2)
12 生理食塩液　５０ｍＬ	50 ｍＬ	点滴注射 フラッシュ用 ﾗｲﾌﾞﾘﾊﾞﾝﾄ投与時と同じ速度でﾌﾗｯｼｭ (2)
13 アセリオ静注液1000mgバッグ ポララミン注５ｍｇ ﾌｧﾓﾁｼﾞﾝ注射液20mg「ﾄｰﾜ」 デキサート注射液６．６ｍｇ	1 袋 1 Ａ 1 Ａ 1 瓶	点滴注射 15分 (8)(15)
14 生理食塩液　５０ｍＬ	50 ｍＬ	点滴注射 フラッシュ用 (8)(15)
15 大塚生食注（250mL袋） ﾗｲﾌﾞﾘﾊﾞﾝﾄ点滴静注350mg	250 ｍＬ （　1400）ｍｇ	点滴注射 注入時間：day8は4時間、day15は3時間 輸液ポンプを用いて投与 投与速度は下記参照 day8は65mL/hで投与 day15は85mL/hで投与 0.2または0.22μmのｲﾝﾗｲﾝﾌｨﾙﾀｰを使用 Total 250mLとなるように調製 調製後、10時間以内に投与完了

			(8) (15)
16 生理食塩液　５０ｍＬ	50 ｍＬ	点滴注射 フラッシュ用 ﾗｲﾌﾞﾘﾊﾞﾝﾄ投与時と同じ速度でﾌﾗｯｼｭ	(8) (15)
17 アプレピタントカプセル125mg「N	１ ｃｐ	内服 day1　点滴開始時	
18 アプレピタントカプセル80mg「NK	１ ｃｐ	内服 day2, 3　朝食後	

パンビタン末　1g　内服　分１　朝食後　７日前より連日内服

メチコバール注射液５００μg　2A　筋肉内注射　７日前より９週毎投与

＊Pem による皮疹が出現した場合，次コースより投与前日から投与翌日までデカドロン 8mg/日予防投与を行う